



杉戸東中だより『ふなと』

学校教育目標「自学・友愛・鍛錬」

令和5年12月1日



言葉が持つ力

校長 吉川 彦

学校閉鎖により延期となり、11月7日に開催された「和泉祭」では、どの学年も10日間のブランクを吹き飛ばす「完全燃唱」で、煌めく歌声を会場に響かせてくれました。1年生の緊張しながらも一生懸命歌う姿に、「無限の可能性(unlimited)」を感じました。2年生は、難しい楽曲を見事に歌い上げ、来年最終年度を迎える東中に明るい「ヒカリ」を与えてくれました。そして、3年生は、圧倒的な歌声で会場全体を魅了し、後輩たちに力強い「YELL」を送ってくれました。

困難な状況の中で「合唱づくりは学級づくり」を体現し、仲間と絆を深めながら大きく成長した生徒の皆さんに心から敬意を表します。感動をありがとう！

さて、合唱曲の歌詞はもちろん、私たちが口にする言葉は、古くは「言霊^{ことだま}」と言われ、その一つ一つに霊力(命)が宿っていると信じられていました。先週の朝会で「いじめ撲滅強調月間」の取組として、お互いの言葉掛けについて考えるという話がありましたが、私たちが何気なく使う言葉には確かに命が宿り、大きな力(良い力も悪い力も)があると思います。そして、「言葉が持つ力」というと『涙の数だけ大きくなれる』の著者である木下晴弘さんが体験したお話を思い出します。

その日は結構混んでいて、3つのレジに列ができていた。木下さんは前から3番目に並んでいた。バイトの女の子が「店内でお召し上がりですか？ お持ち帰りですか？」とお客さんに聞いている。どこのハンバーガーショップでも見られる光景がある。

何を食べようかと考えていた木下さん、ふと前の方が騒がしいことに気が付いた。1番前の男性の声が怒鳴り声になったからだ。どうも注文した商品の一つを入れ忘れたようだ。

男性は「何しとんね。トロイんじゃ、お前、もうええわ」と怒りをあらわにし、商品が入った紙袋を奪い取るようにして店を出ていった。その後ろ姿に向かってバイトの女の子は「申し訳ありませんでした。すみませんでした」と何度も頭を下げている。一瞬にして店内の空気がとげとげしくなった。

2番目に並んでいたのは70歳ぐらいのおじいちゃんだった。バイトの子は、今にも泣きそうな顔だったが、無理やり作った笑顔で、「いらっしゃいませ。こちらでお召し上がりですか？」と何事もなかったかのように接客した。おじいちゃんは静かな声で言った。

「お姉ちゃん、エういなあ。世の中にはさっきの人みたいに自分の思い通りにならんかったら怒鳴り散らす人がいる。あの人なんか急いどったんやろう。あんなこと言われてあんたの心はズタズタのはずや。にもかかわらず次に並んどるわしに笑顔で接客してくれた。わしにはあんたくらいの孫がおる。あんたの笑顔を見て、その孫を思い出した。これから孫に連絡を取ろうと思う。いや、ありがとう。あ、コーヒーを一杯」

その言葉を聞いた途端、堰^{せき}を切ったようにバイトの子の目から涙が溢れだした。ワンワン声を上げて泣き出した。しばらく涙が止まらなかった。横のレジに並んでいた中年の女性が声を掛けた。「あんた、本当にいい仕事してるわよ」とげとげしかった店の雰囲気、一瞬にして和らいた。言葉なんだなあと思った。何の関係もない間柄でも、たった一言で、一生忘れられない人になる。

言葉には、言語としてだけではなく、何かすごい力があるんだと思う。そんな言葉を発する人になりたいものである。

【心に余韻を残した和泉祭】

11月7日(火)、和泉祭が開催されました。インフルエンザの感染拡大等による延期があったにもかかわらず、各学年が素晴らしい合唱を披露し、合唱練習を通してクラスとして成長してきたことがよく伝わってきました。特に、3年生の合唱は、聴き手に感動を与えるものでした。実は、和泉祭の延期が決定する直前、3年生は、本番に向けて全員で合唱をつくり上げてきたことがひしひしと感じられるほど良い状態でした。そのため、延期決定後はコンディションを調整し直す困難さがあったのではないかと思います。そんな中、迎えた和泉祭当日、各パートの声がきれいに重なり合い、それまでの練習でみせていた合唱とはまた質の違う、聴き手の心に感動と余韻を残す圧倒的な合唱を披露しました。そんな3年生に拍手を送ります。

平日にもかかわらず、お越しくださった保護者・ご来賓の皆様、ありがとうございました。ある方から「たまにはこうして合唱を聴くのもいいですね」とのお声をいただきました。これは、生徒にとっても、職員にとっても大変ありがたいお言葉でした。どうもありがとうございました。



【他者を理解することと共生社会】

11月8日(水)、2年生の総合的な学習の時間にて福祉体験学習を行いました。老々介護についての学習もあり、多様な他者と協働して共生社会をつくりあげていくために必要な視点や方法を学ぶことができました。ご協力いただいた杉戸町社会福祉協議会の紙屋さん、どうもありがとうございました。



【うまくいかない時、どうあるべきか】

11月22日(水)、表彰朝会が行われ、校内外で優秀な成績を修めた人たちが表彰されました。表彰される人たちを見て感じたのは、目標を持って何かに取り組むことの大切さです。物事がうまくいかない時、投げ出してばかりでは何も成し得ません。努力を続けられることこそ、素晴らしい才能なのです。ぜひ、もう一度、学習や部活動などの目標を見直し、自分の取り組みを振り返ってみましょう。そして、うまくいかない時にこそこつこつ努力できる人になりましょう。

【話しにくいことを相談してくれて、ありがとう】

11月は、いじめ撲滅強調月間でした。いじめは、絶対に許されない行為です。多くの人がそのことを分かっているはずなのに、いじめはなくなりません。だからこそ、定期的に自分はいじめをしていないかとセルフチェックしましょう。

また、もし、誰かに嫌なことをされ心が苦しい人は、先生や相談室の田村さんに声をかけたり、心と体の安全点検にメッセージを書いたりしてください。相談してくれたあなたの勇気を、大切にすることを約束します。

<12月の行事予定>

- 6(水)全校朝会、中央委員会
- 11(月)授業参観
学年保護者会(1、2年生)
- 13(水)生徒朝会
- 14(木)スクールカウンセラー来校
- 18(月)教育相談期間(3年生)
- 19(火)教育相談期間(3年生)
- 20(水)2学期給食最終日
ふれあいデー
- 21(木)大掃除
- 22(金)2学期終業式
- 23(土)冬季休業開始(令和6年1月8日まで)
- 25(月)通知書受領証提出(3年生)
- 29(金)休日
- 30(土)休日
- 31(日)大晦日

<令和6年1月の行事予定>

- 1(月)元旦
- 2(火)休日
- 3(水)休日
- 8(月)成人の日
- 9(火)3学期始業式
- 10(水)給食開始、避難訓練、自転車点検
- 11(木)スキー教室(1年生)
スクールカウンセラー来校
- 12(金)スキー教室(1年生)
- 13(土)スキー教室(1年生)
町内書きぞめ展
- 15(月)振替休業日(1年生)
- 17(水)専門委員会
- 19(金)学校運営協議会
- 22(月)ふれあいデー
- 24(水)生徒朝会、中央委員会
- 25(木)スクールカウンセラー来校
- 31(水)表彰朝会、専門委員会

・部活動終了時刻 16:30

・完全下校時刻 16:45

※1月より16:45終了、17:00下校